

噴火警戒レベル「」

62-2火口、振子沢噴気孔群及びその周辺では引き続き噴煙・噴気が多く、熱活動が活発な状態 が続いています。今後の火山活動の推移には注意が必要です。

噴煙*'などの表面現象の状況

62-2火口の噴煙の高さ 火口縁上

大正火口の噴気の高さ

振子沢噴気孔群の噴気の高さ 稜線上 600m以下(前月600m以下) 100m以下(前月100m以下) 300m以下(前月100m以下)

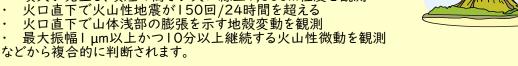
地震活動等の状況

- 火山性地震 ~ 49回(前月35回)
- 火山性微動 ~ 0回(前月0回)
- 地殻変動の状況

高性能なGPS連続観測では、2021年以降に山体浅部の収縮傾向を示す地殻変動が観測されて いましたが、2022年以降次第に鈍化し、2024秋以降は概ね停滞しています。

- ※ 十勝岳における噴火警戒レベル「2」への引上げ基準
 - 噴火が発生し、火口から概ね1.5km以内に大きな噴石が飛散
 - 噴火が発生し、噴煙の高さが火口縁上1,000m程度を観測

 - 最大振幅 | μm以上かつ | O分以上継続する火山性微動を観測





噴火警戒レベル「」

~火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません~

噴煙などの表面現象の状況 \Diamond

旭岳地獄谷爆裂火口の噴気の高さ 火口上200m以下(前月100m以下)

地震活動等の状況

- 火山性地震 ~ | |回(前月|5回)
- 0回(前月0回) 火山性微動
- 火山性地震は少なく、地震活動は低調な状態です。
- ※1 噴煙とは、火山活動によって火口から上昇する煙状または雲状の火山噴出物、火山ガス及び周辺の大気が混 合したもの、噴気とは火山ガスのことです。
- ※2 火山性微動とは、地下のマグマや火山ガス、熱水などの移動や振動が原因と考えられており、火山活動が活発 化したときに多く観測されます。
- ◇ 本資料は、札幌管区気象台地域火山監視・警報センターが発表する資料に基づき作成しています。 詳細は気象庁公式ホームページをご覧ください。